

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 2 月 13 日 (2020.2.13)

【公開番号】特開 2017-225620 (P2017-225620A)

【公開日】平成 29 年 12 月 28 日 (2017.12.28)

【年通号数】公開・登録公報 2017-050

【出願番号】特願 2016-123644 (P2016-123644)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 26 日 (2019.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を貯留可能な上皿と、前記上皿の下方に設けられる下皿と、を備えた遊技機であって、

遊技球が流下する遊技領域と、

所定の発射位置から前記遊技領域に向けて遊技球を発射する球発射装置と、

前記発射位置から発射されたものの前記遊技領域に到達しなかった遊技球を前記上皿ではなく前記下皿に返却する返却経路を構成する下皿返却部と、

遊技球に付された線材が前記返却経路および前記下皿返却部の出口を通じて前記下皿側から操作されることを防止し得る不正防止部と、

を備え、

前記不正防止部は、折れ曲げにより形成された切断部位を有する金属板材からなり、該金属板材は、前記返却経路内の所定位置に前記切断部位が位置するように装着されており、

前記返却経路に位置する線材に張力が付加された際に当該線材が前記切断部位で切断されうるように前記金属板材を前記下皿返却部に配置することにより、遊技球に付された線材が前記返却経路および前記下皿返却部の出口を通じて前記下皿側から操作されることを防止し得るようにしたものであり、

さらに、前記返却経路は、遊技球が前記下皿返却部の出口から返却されるまでに屈曲部を有し、前記返却経路に位置する線材を該屈曲部によって屈曲せうるようにし、

さらに、前記下皿返却部と前記金属板材は、前記下皿返却部に前記金属板材が装着された状態でユニット化され、当該遊技機に対する前記下皿返却部の離脱および装着とともに当該遊技機に着脱可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 4 】

ところで、従来の遊技機は、線材が付された遊技球が発射され、その線材を操作する不正な遊技に対する抑止力が十分ではなかった。

## 【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 5

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 5 】

本発明は上記に鑑みなされたもので、その目的は、不正な遊技に対する抑止力を高めた遊技機を提供することにある。

## 【 手 続 補 正 4 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 6

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 6 】

本発明は、

遊技球を貯留可能な上皿と、前記上皿の下方に設けられる下皿と、を備えた遊技機であって、

遊技球が流下する遊技領域と、

所定の発射位置から前記遊技領域に向けて遊技球を発射する球発射装置と、

前記発射位置から発射されたものの前記遊技領域に到達しなかった遊技球を前記上皿ではなく前記下皿に返却する返却経路を構成する下皿返却部と、

遊技球に付された線材が前記返却経路および前記下皿返却部の出口を通じて前記下皿側から操作されることを防止し得る不正防止部と、

を備え、

前記不正防止部は、折れ曲げにより形成された切断部位を有する金属板材からなり、該金属板材は、前記返却経路内の所定位置に前記切断部位が位置するように装着されており、

前記返却経路に位置する線材に張力が付加された際に当該線材が前記切断部位で切断されうるように前記金属板材を前記下皿返却部に配置することにより、遊技球に付された線材が前記返却経路および前記下皿返却部の出口を通じて前記下皿側から操作されることを防止し得るようにしたものであり、

さらに、前記返却経路は、遊技球が前記下皿返却部の出口から返却されるまでに屈曲部を有し、前記返却経路に位置する線材を該屈曲部によって屈曲させうるようにし、

さらに、前記下皿返却部と前記金属板材は、前記下皿返却部に前記金属板材が装着された状態でユニット化され、当該遊技機に対する前記下皿返却部の離脱および装着とともに当該遊技機に着脱可能である

ことを特徴とする。（段落 0 0 4 8 ～ 0 0 7 4、図 7 ～ 図 2 1 参照）

## 【 手 続 補 正 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 0 7

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 0 7 】

本発明によれば、不正な遊技に対する抑止力を高めた遊技機が提供できる。